

会議名	第3回新城市公共施設再配置計画検討委員会		公開
日時	令和7年6月25日(水) 午後6時30分～午後8時54分	場所	市役所本庁舎 4階会議室
出席者	(委員) 杉木直、吉村輝彦、伊藤雅朗、村松昂章、浅井泰博、垣内隆由、 河村晶子、河合好彦、岡山ひろみ オンライン出席		
	(事務局) 総務部：佐藤部長 資産管理課：野澤課長、竹下副課長、三輪主任、鈴木主任、山本主任、 請井主事、大岩主事 (支援委託業者) ランドブレイン株式会社名古屋事務所：松波、谷口		
欠席者	片桐幹久	傍聴者	なし
配布資料	第3回新城市公共施設再配置計画検討委員会 次第 資料1 - 1 検討の進め方(本日の位置づけ) 資料1 - 2 委員意見検討一覧表(第2回検討委員会の意見と対応) 資料2 - 1 シンポジウム開催報告書 資料2 - 2 ワークショップニュース vol.1 資料3 - 1 現行計画の評価(施設別) 資料3 - 2 新城市公共施設等総合管理計画(中期計画・素案) 資料3 - 3 新城市公共施設等総合管理計画(中期計画)主な改訂内容 資料3 - 4 新城市公共施設個別施設計画(検討資料) 資料3 - 5 地域別カルテ 資料3 - 6 施設カルテの見方		

議題・議事・発言等(要点記録)

1 開会

(1) 開会宣言

事務局	事務局から開会宣言を行った。 出席状況を確認し、委員の出席を把握した。
-----	--

2 議事

事務局	本委員会は原則として公開である旨を説明した。 また、会議録の公開にあたり、本委員会の内容を録音する旨を説明した。 議題の進行について、杉木委員長に依頼した。
-----	--

(1) 前回の振り返り

事務局	資料 1 - 1 に基づき、「本日の位置づけ」について説明した。 資料 1 - 2 に基づき、「第 2 回検討委員会の意見と対応」について説明した。 あわせて、今回から委員意見検討一覧表に「意見の項目」を追加したことを報告した。
-----	--

< 質疑応答 >

委員	質問番号 14 に関連し、ワークショップにおける施設カルテの提供時期について質問。 何回目のワークショップから提供を予定しているか。
事務局	提供は 8 月末を想定しており、現在様式を検討中である。 第 3 回ワークショップには間に合わせる予定である。

(2) 市民参加の開催報告

事務局	資料 2 - 1 に基づき、「シンポジウムの開催報告」について説明した。 資料 2 - 2 に基づき、「キックオフミーティングの開催報告」について説明した。
-----	---

< 質疑応答 >

委員	ワークショップに関して、現時点で個別の施設の方向性について、参加者へ情報提供を行っているか。
事務局	現時点では情報提供を行っていない。 今後、いただいた意見を踏まえ、把握している施設情報を整理し、提供していく予定である。

委員	関連して、今後のワークショップでは、前提条件を踏まえたうえで、検討のベースとなるような統廃合案を提示してはどうか。
委員	統廃合に対する市民の理解が不十分であると、後々の混乱につながる可能性がある。 したがって、データや情報の提供が必要である。
事務局	いただいた意見を踏まえ、ワークショップ参加者に提供する情報内容について検討していく。 なお、検討のベースとなる統廃合案については提供しない方針である。 まずは、市民から自由なアイデアを募ることを優先したい。

委員	ワークショップに関して、中高生向けのワークショップを開催することは可能か。
----	---------------------------------------

事務局	開催は可能であり、全校集会や出前授業の形式で実施できる。 実際に市内の高校から同様の依頼があった。
委員	土曜日は部活動等により参加が難しい中高生も多いため、学校やクラス単位でのワークショップ開催はどうか。 その結果を「高校生が考えた案」としてアウトプットすることも有意義である。
委員	ワークショップの参加条件に関して、年齢制限はあるか。
事務局	高校生（16歳）以上を参加対象としている。
委員	ワークショップに関して、高校生の応募はあるか。
事務局	現時点では把握していない。
委員	学校で配布されているタブレットを活用し、オンラインでの参加も可能ではないか。
委員	タブレット使用にセキュリティ上の課題がある場合は、対面開催でも問題ない。
委員	大人の多いワークショップに高校生が参加して発言するのは困難な面もあるため、高校生だけのワークショップを開催し、その結果を大人の方へ共有するという方法も有効である。
事務局	いただいた意見を踏まえ、中高生にも公共施設マネジメントを分かりやすく理解してもらえよう、ゲーム要素を取り入れるなど、今後のワークショップの実施内容を検討していく。

委員	ワークショップにおいて何が求められているのか、確認したい。 あわせて、議論を進めるにあたって抑えるべき前提条件や、どの範囲まで自由に意見交換してよいかについても明らかにしてほしい。
事務局	公共施設の縮減が求められるなかで、地域にとって必要な機能を明らかにするとともに、それらの機能を公共施設で担うべきか、あるいは民間施設で担うことが可能であるかについて、ワークショップを通じて議論してもらうことを狙いとしている。
委員	段階的に条件を付して進めている現在の進め方で、特段の問題はないのではないかと考える。
委員	施設の維持管理の観点から、日常的な管理を地域住民に担ってもらいたいと考えているのであれば、そのような提案を引き出すことが望ましい。 あわせて、地域で対応可能なことを明らかにすることができれば、なお良い。
事務局	いただいた意見を踏まえ、ワークショップの実施内容を検討していく。

委員	<p>ワークショップにおける検討結果と、市が考えている方向性との間に乖離が生じた場合、どのように対応するのか。</p> <p>乖離が生じないように、あらかじめ一定のコントロールを行う考えであるのか。</p>
事務局	<p>ワークショップの検討結果と市の考えが乖離する可能性は高いと認識している。</p> <p>その乖離の幅をどのようにコントロールしていくかが、重要な課題であると捉えている。</p>
委員	<p>方向性を変更できない施設については、あらかじめ情報提供を行うのか。</p>
事務局	<p>個別の施設の方向性や築年数、改修時期については、第1期の個別施設計画で明示しているため、情報提供を行う。</p> <p>また、市として集約したい機能および集約先については、既に考えを有している。ワークショップでは、集約先のみを示し、集約したい機能については市民に検討してもらう方針である。</p> <p>事務局では地域別カルテや施設カルテを作成しており、前提条件となる情報はこれらのカルテを通じて提供可能である。</p>
委員	<p>個別の施設の方向性や築年数、改修時期を示すことには賛同する。</p>
委員	<p>ワークショップ会場には託児所が設置されているのか。</p>
事務局	<p>託児機能は設けていない。</p> <p>子どもの見守りについては、事務局が対応している。</p>
委員	<p>共有可能な情報を提供していくことには賛同する。</p> <p>参加者自身が、自らのやりたいことやアイデアを意見として発信することが重要であると考えている。</p> <p>今回のワークショップは、市民が主体的に公共施設マネジメントについて考え、行動していくための意識醸成の場という役割も有している。</p> <p>予定調和的な進行は、本来のワークショップの趣旨にそぐわないと考える。自分たちが実現したいことに向けて、自らも維持管理を担っていくという意識に帰着できることが望ましい。</p> <p>第2回のワークショップの内容を踏まえつつ、適宜、軌道修正を図っていけばよいと考えている。</p>
委員	<p>市として、個別の施設に関する考え方や評価を公表する予定はあるのか。</p> <p>また、ワークショップで出されたアイデアが最終的に計画に反映されない可能性があるのではないか。</p>
委員	<p>施設の方向性を定めるためには、ワークショップにおいて議論を重ねてい</p>

	く必要がある。
事務局	<p>個別の施設に関する考え方や評価は、公表する予定である。実際に、第1期の個別施設計画を公表しており、その中で各施設の方向性や評価を明示している。</p> <p>また、「市に要望する」という構図ではなく、「ともに考えていく」という姿勢のもと、機能や施設の方向性について市民と議論を深めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>先程他の委員から発信のあった「ワークショップの参加者が、自分たちのやりたいことを達成するための延長として、自分たちで維持管理をしていこう」という意識を高められるようなワークショップにしていこう」との意見に賛同する。</p> <p>そのうえで、市民の考えと市の考えが乖離しないようにすることが、重要なポイントであると考えている。</p>
委員	<p>ワークショップの中で検討対象とする施設と、そうでない施設との線引きを明確にする必要がある。</p> <p>また、カルテのどの情報を活用するかについても検討が必要である。</p> <p>必要のない議論によって検討が発散することは避けなければならない。</p>
事務局	必要最低限の情報として、築年数、耐用年数、市の考え、が挙げられる。
委員	<p>施設の方向性が定まっていないものについては、現時点で「未定」とすることも差し支えないと考えている。</p> <p>今回のワークショップの目的を踏まえると、全4回で完結するものではなく、その後も市民が主体的に公共施設について考え続けていくための、意識醸成の場とする視点も重要であると感じている。</p> <p>ただし、最終的には計画の内容を具体化していく必要があることも踏まえ、両面からの検討が求められる。</p>

(3) 新城市公共施設等総合管理計画の改訂及び新城市公共施設個別施設計画(第2期)策定について

事務局	<p>資料3-1に基づき、「現行計画の評価」について説明した。</p> <p>資料3-2および3-3に基づき、「新城市公共施設等総合管理計画(中期計画・素案)」の内容および主な改訂点について説明した。</p> <p>資料3-4に基づき、「新城市公共施設個別施設計画(検討資料)」について説明した。</p> <p>資料3-5に基づき、「地域別カルテ」について簡潔に説明した。</p> <p>資料3-6に基づき、「施設カルテの見方」について簡潔に説明した。</p>
-----	--

< 質疑応答 >

委員	資料3 - 1 に関して質問。 ワークショップにおいて、「除却が遅延している施設」や「検討中の施設」が対象となる場合、それらの個別施設の名称や方向性は共有されるのか。
事務局	段階的に情報を提供していく予定である。
委員	関連して質問である。「除却」とは、どのような定義によるものか。
事務局	資料において「除却」は「建物の解体」を示しているが、正しくは「市の管理でなくなった施設」である。 「除却」という用語の定義が曖昧であったため、本計画においてはその点も含めて修正していく方針である。
委員	ワークショップの場においては、常に最新の状況を提示していく必要があるのではないか。 例えば、旧巴小学校の利活用においては民間提案制度による提案を募集していること、千郷中こども園の現状、また長篠城址史跡保存館の移転に関する提案があることなど、こうした情報も適宜共有されるべきであると考え
事務局	文化施設の検討状況について、ワークショップにおいて情報提供を行うかどうか、引き続き検討を進める。
委員	タイムリーな情報の収集・整理については、職員の負担も考慮すると、対応には限度があるのではないか。
事務局	資料を提供する前に、最新の情報と照合し、内容の確認を行うようにする。
委員	関連して質問。庁舎等に関して、集約を進めたにもかかわらず延べ床面積が増加している理由は何か。 また、旧中央こども園および旧吉川こども園が「未着手」となっている理由は何か。
事務局	鳳来総合支所に関連する施設のうち、旧鳳来保健センターや新設した防災倉庫を庁舎機能として算定していること、また市役所本庁舎の東庁舎が残存していることが、延べ床面積増加の要因である。 なお、旧中央こども園および旧吉川こども園の検討状況については、所管課に確認を行う予定である。
委員	「未着手」と評価されている施設について、備考欄に補足説明がある施設とない施設が混在しており、検討中であるか否かが分かりづらい状況である。
委員	資料3-2 に関して質問。歳入と歳出が釣り合っていない理由は何か。 また、総合管理計画において用いるデータは、どの時点のものを想定しているのか。

	<p>さらに、インフラ系施設について、我々が議論の対象とする必要があるのか確認したい。</p> <p>「施設の複合化・多機能化」に関しては、手法として4つが示されているが、資料3 - 4における「施設再配置の方針」では6つの手法が記載されており、その違いは何か。</p> <p>加えて、消防施設に関して、倉庫や器具庫は100㎡未満の施設が多いが、個別施設計画では100㎡未満の施設は対象外とされている。この点について、どこまでを検討対象とするのか確認したい。</p>
委員	<p>総合管理計画と個別施設計画は別のものであり、混同しているのではないかと。</p>
事務局	<p>手法については、総合管理計画において大枠を示し、個別施設計画においてより具体的かつ詳細な内容を示す構成となっている。</p> <p>総合管理計画は、市が管理している全ての施設を対象としているが、個別施設計画においては、コストへの影響が小さい100㎡未満の施設は対象外としている。</p> <p>そのため、消防防災施設のうち、個別施設計画の対象となる施設はごくわずかである。</p> <p>また、歳入と歳出が釣り合っていない点については、前年度からの繰越金があるためである。</p>
委員	<p>資料3 - 1に関して質問。</p> <p>用途別の「全体評価」とはどのような基準で評価しているのか。</p>
事務局	<p>第1期個別施設計画のスケジュール通りに進行しているかどうかの観点で評価を行っている。</p> <p>今後は、延べ床面積の縮減率の観点からも評価できるよう、資料の修正を行う。</p> <p>また、第2期個別施設計画では、コスト、面積、スケジュール等の観点から評価を行う予定である。</p>
委員	<p>総合管理計画と個別施設計画とで、目標設定が異なっているが、どちらかが正しいのか。</p>
事務局	<p>維持更新費用の30%削減が正しい目標設定であるため、指摘の箇所については、資料の修正を行う。</p> <p>その他、不明点や質問があれば個別に対応を行う。</p>

3 その他

(1) 今後の予定について

事務局	今後の予定について説明した。 次回の検討委員会は8月26日(火)の開催を予定している。
-----	--

4 閉会

事務局	事務局から閉会の挨拶を行った。
-----	-----------------

以上